

小規模企業景気動向調査

[平成17年2月期調査]

厳しいながらも改善の動きが見られる小規模景況

平成17年3月14日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成17年2月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

2月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス21.1(前月比プラス2.4ポイント)、採算がマイナス26.5(同プラス1.4ポイント)、資金繰りがマイナス22.0(同プラス4.1ポイント)、業況がマイナス26.5(同プラス2.9ポイント)となった。製造業は機械金属加工業を中心に受注量が増加、建設業は年度末という事情から多少上向いているとの回答が多く、回復傾向が見られた。小売業及びサービス業も全項目揃って前月比プラスとなった。今月期は、小幅ながら全業種で改善傾向が見られる調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がマイナス12.7(前月比プラス0.8ポイント)、採算がマイナス16.7(同プラス2.3ポイント)、資金繰りがマイナス11.8(同プラス4.2ポイント)、業況がマイナス15.3(同プラス1.7ポイント)となった。原材料及び燃料の値上がりにより利益が圧迫されているとの回答が見られたものの、機械金属加工業や自動車部品製造業は引き続き好調を維持しているとの回答が多く、全ての項目で改善した。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス12.8(前月比プラス6.1ポイント)、採算がマイナス33.0(同プラス1.4ポイント)、資金繰りがマイナス27.5(同プラス8.1ポイント)、業況がマイナス27.9(同プラス4.6ポイント)となった。公共事業の減少が続いているため事業者の先行き不透明感が強いとの回答が多く見られたものの、除雪作業の増加や市町村合併等の影響による年度末の工事発注に伴い忙しくなってきたとの回答が多く、資金繰りを中心に全ての項目で改善した。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス30.4(前月比プラス1.9ポイント)、採算がマイナス31.0(同プラス1.6ポイント)、資金繰りがマイナス25.8(同プラス3.4ポイント)、業況がマイナス33.7(同プラス2.0ポイント)となった。大雪により高齢者を中心に客足が遠のいたとの回答が見られたものの、衣料品小売業については本格的な冬の到来で冬物衣料が若干動いたとの回答があり、全ての項目で改善した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス28.7(前月比プラス0.5ポイント)、採算がマイナス25.4(同プラス0.3ポイント)、資金繰りがマイナス22.8(同プラス1.0ポイント)、業況がマイナス29.3(同プラス3.2ポイント)となった。旅館業は天候不良や旅行スタイルの変化などが原因で売上不振との回答が見られたものの、マッサージ業など健康関連サービスの新規開業が増え全体的に明るさを感じられるとの回答が見られ、昨年10月以来の全項目改善につながった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲23.5	▲21.1	2.4	▲13.5	▲12.7	0.8	▲18.9	▲12.8	6.1
採算	▲27.9	▲26.5	1.4	▲19.0	▲16.7	2.3	▲34.4	▲33.0	1.4
資金繰り	▲26.1	▲22.0	4.1	▲16.0	▲11.8	4.2	▲35.6	▲27.5	8.1
業況	▲29.4	▲26.5	2.9	▲17.0	▲15.3	1.7	▲32.5	▲27.9	4.6

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲32.3	▲30.4	1.9	▲29.2	▲28.7	0.5
採算	▲32.6	▲31.0	1.6	▲25.7	▲25.4	0.3
資金繰り	▲29.2	▲25.8	3.4	▲23.8	▲22.8	1.0
業況	▲35.7	▲33.7	2.0	▲32.5	▲29.3	3.2

注) D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:振興部 振興課 渡部 TEL:03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp